

鉄道事業

創造事業



代表取締役副社長兼執行役員 鉄道本部長  
緒方 文人

安全に対する感度を高め、さらなる安全性の向上に挑戦していきます

JR西日本グループは1987年の発足以来、お客様の暮らしを支え、地域の活性化に貢献するためにさまざまな取り組みを進めてきました。「人々が出会い、笑顔が生まれる、安全で豊かな社会」というめざす未来の実現に向けて、これらの取り組みをこれからも引き続き継続します。

そのためには最も重要となるのが安全性の確保・向上で、今が安全か常に問い続けることで、さらなる安全性向上に挑戦していきます。

2005年の福知山線列車事故後、当社はさまざまな安全の取り組みを積み重ねてきました。しかしながら、2017年12月に発生した新幹線の重大インシデント事象により、まだ至らぬ点があったことを痛感しているところです。

過去の教訓等から生まれた基本動作やルール、手順などをキッチリと遵守することはもとより、直面する状況において「危ないと感じたとき」と「安全が確認できないとき」は「迷わず列車を止める」こと等、安全に対する感度を高め、当社グループとして改めて安全性を向上させていきます。

高度化・多様化するご要望にお応えし、ステークホルダーの皆様を笑顔に

お客様のご要望、ご期待は年々高度化、多様化しています。今後とも当社グループを選択いただけるように、自治体や地域の皆様、創造事業部門と連携して魅力を創り続けていきます。どのような商品、情報を提供したら、お客様に心地良さ、うれしさを感じていただけるか。期待を超え、驚きと感動を呼ぶサービスをどう実現するか。シニアやインバウンドのお客様に来ていただくにはどうするのか。従来の取り組みだけでなく、新しい施策にも挑戦し続けます。

これらを実現する鍵は、人財と技術にあります。

社員一人ひとりが技術・技能の向上に努めるとともに、目の前の仕事、将来のあるべき姿に対して主体的に取り組んでいきます。

また、技術の進歩は著しく、日々新たなニーズに見合ったサービスが創り出されています。当社グループも設備やシステムだけでなく、運転、ご案内、放送、販売等、すべての仕事の技術を前進させていき、技術の進歩を牽引する意気込みで積極的に取り組んでいきます。

これらの取り組みを通じて、ステークホルダーの皆様の笑顔を創り出していきたくと思っています。



都市再開発事業へ積極的に参画し、「駅からはじまるまちづくり」を推進

創造事業部門の使命は、JR西日本グループの基幹事業である鉄道事業との相乗効果を発揮し、「線区価値」、「地域価値」の向上を実現することです。鉄道を利用されるお客様や沿線で生活される皆様のご期待に応える質の高い商品やサービスを提供していくことや、地域ビジネスの創造、育成等を通じて、定住人口、交流人口の拡大を図ります。

この創造事業の基本戦略の下、物販・飲食事業、不動産賃貸・販売事業、ショッピングセンター事業、ホテル事業を核に、積極的に事業推進していきます。

これまでの事業展開は、保有資産の有効活用を図り、いわゆる駅ナカ開発、駅チカ開発に重点をおいてきましたが、今後はこうした取り組みに加え、拠点駅や準拠点駅の近隣の都市再開発事業へ積極的に参画し、「駅からはじまるまちづくり」を推進していきます。

中期経営計画期間の先を見据えた事業展開で企業価値向上へ

今回の中期経営計画においては、期間中の成果の追求にとどまらず、その次の時代を展望し、三ノ宮駅開発、広島駅およびその周辺開発、大阪駅周辺開発を「3大プロジェクト」と位置づけ、2023年度以降の早期開業を目指して着工準備を進めていきます。また、金沢駅周辺、富山駅周辺などの開発にも取り組み、「線区価値」、「地域価値」の向上を図っていきます。

さらに、首都圏や海外主要都市圏などの今後とも発展が期待される有望市場において事業展開を図り、ブランド力を強化することで企業価値を向上させていくことにもチャレンジしていきます。

こうした施策の実施により、JR西日本グループの収益基盤をより安定的なものにしていくと同時に、次なる高いステージに向けた発展力を備え、「線区価値」「地域価値」の向上と定住人口、交流人口の拡大を実現していきます。



代表取締役副社長兼執行役員 創造本部長  
長谷川 一明



## 新幹線事業



代表取締役副社長兼執行役員  
鉄道本部新幹線鉄道事業本部長  
平野 賀久

### 新幹線にかかわる機能を集約した新体制で、 新しい発想での取り組みにチャレンジ

中期経営計画に掲げるさまざまな戦略を展開していく上で、基幹事業である鉄道のネットワークの基軸である新幹線は、重要な存在です。将来は、なにわ筋線やリニアの開業、北陸新幹線の延伸などによって、新大阪駅が鉄道ネットワークのハブとして機能することが期待され、新幹線の重要性はますます高くなります。持続的に発展していくために、日常のオペレーションを着実に実行できる基礎体力の維持と向上に加え、将来の姿を実現するための打ち手をスタートさせます。

中期経営計画の中で、掲げた目標の達成に向けて、これまで積み重ねてきた経験をあらためて評価し、弱みに修正を加えるとともに強みを磨き上げ、さらに既成概念にとらわれない新しい発想での取り組みにもチャレンジします。

2017年12月に発生させた重大インシデントおよび2018年6月に発生した新幹線に人が接触した事象からは、多くのことを学びました。その反省から浮かび上がってきた個別の課題への具体的な対処を迅速に実行してまいります。また、自然災害の激甚化やテロ対策への対応も着実に実行してまいります。

これらの取り組みを強力に推進していくことを目的に、2018年6月に体制変更を実施しました。新幹線にかかわるすべての機能を集約し、現場第一線から本社までを一体的な体制とし、施策の効果の最大化をめざします。

### 多様なサービス展開と地域との連携で、 新幹線事業の「進化」につなげます

ご利用の拡大に向けては、成長著しいインバウンド需要への確実な対応に加え、お客様のニーズにお応えするスマートEXやハローキティ新幹線などの多様なサービスも展開して、利便性・快適性の高い新幹線を作り上げます。

また、2023年春の北陸新幹線敦賀開業に向けて、その後の大阪延伸を視野に入れつつ、開業効果を最大化できるよう諸準備に万全を期すとともに、関係する地域の皆様と連携して取り組みを進めてまいります。

これまで取り組んできたことを「継続」して着実に前進させ、新たな取り組みによって新幹線を「進化」させていきます。安全を基礎として新幹線の品質を向上させ、広域鉄道ネットワークの基軸としての存在感を確立することで、西日本エリアにおける安全・安心で快適な移動空間を実現していきます。

